

「中計2026」

中計最終年度の対応について

2026年6月2日

芝浦機械株式会社

中計2026

2024年度～2026年度

<本編中の用語注釈>

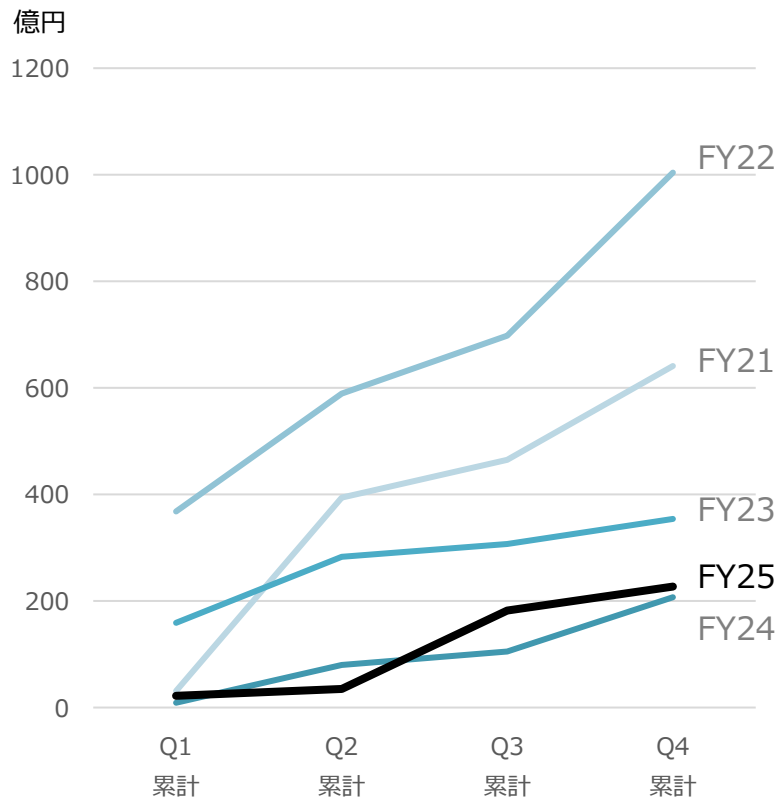
射出	：射出成形機	(成形機セグメント)
ダイカスト	：ダイカストマシン	(成形機セグメント)
押出	：押出成形機	(成形機セグメント)
工作	：大型の工作機械	(工作機械セグメント)
精密	：超精密加工機	(工作機械セグメント)
制御	：制御機械セグメント	

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

1

2026年度の見通し

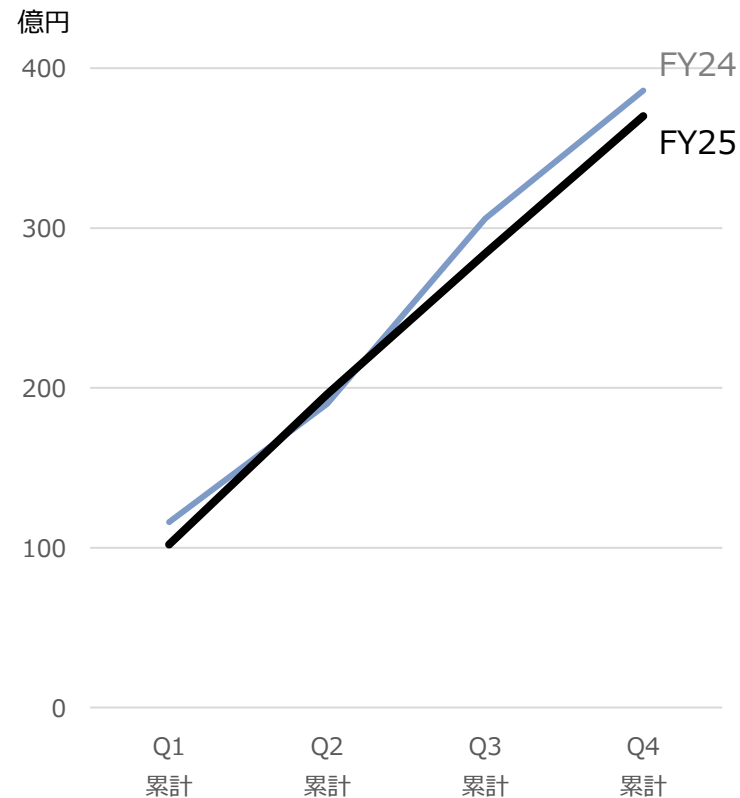
■ 押出成形機の受注高（累計）



EVシフトの鈍化による世界的な生産能力が過剰

⇒ 底は打ったものの、押出の受注が低迷

■ 射出成形機の受注高（累計）



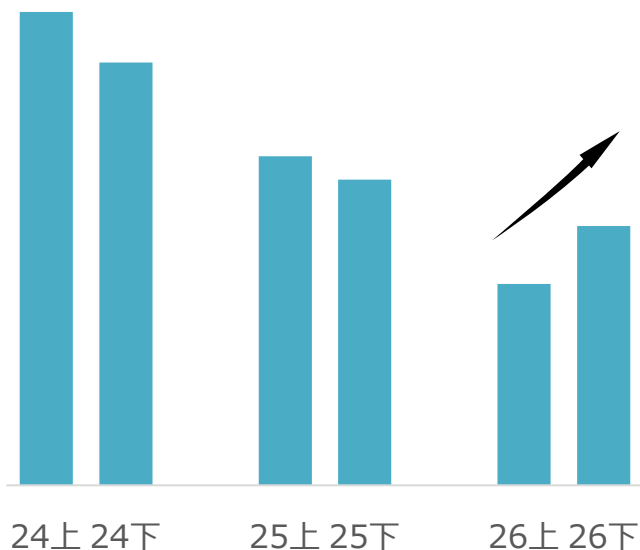
米国関税の影響により、自動車産業にて設備投資の様子見と延期

⇒ 射出の受注を伸張できず

2026年度の業績予想（半期）

■ 当期売上のうち受注済分の推移

年度末の受注残高より、
当期に売上げる予定の案件を累計したもの



23、24年度のBSF受注停滞を受け、
26年度売上の受注残形成が苦戦
ただし、BSFの受注再開と工作機械の受注
拡大で、**2026下以降は増加に転じる**

■ 業績予想（半期）

(単位:億円)

	26上	26下
売上高	520	850
営業利益	0	42
経常利益	▲11	42
当期純利益	▲8	28

2026上は、売上規模減少と、
為替の円高見通しから
損益が厳しい状況

中計2026

2024年度～2026年度

2

26年度緊急対応について

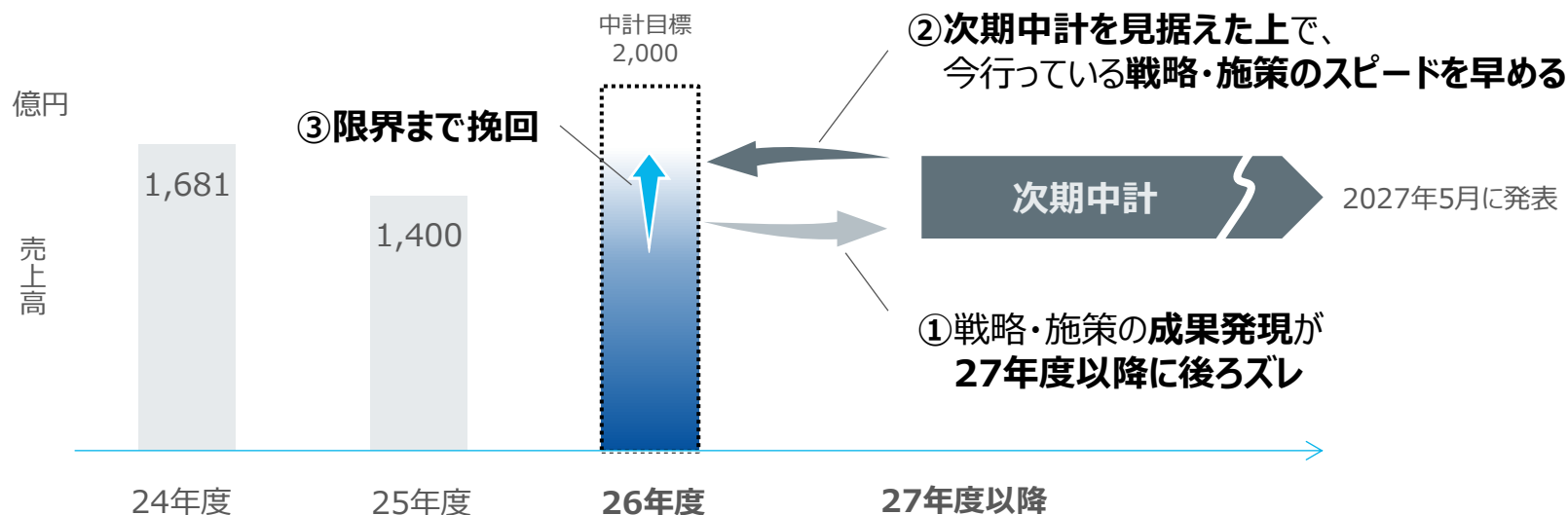
26年度緊急対応の策定 【再掲 2025/11/19】

中計2026



(参考) ROIC 9.0% 以上

- 「中計2026」は事業環境の大幅な変化により、**26年度の目標は未達**となる見込
26年度の業績予想は26年5月に改めて公表予定
- 次期中計は27年5月に公表予定
- 次期中計に向け、**26年度緊急対応を策定・推進**し26年度業績にも寄与するよう施策を推進



次期中計に向けた26年度緊急対応は、「中計2026」で推進している**戦略・施策**をベースに、26年度業績にも寄与させるべく、**実行スピード・刈り取り時期を早める**

- 徹底的な**経費節減・効率化**による**利益創出** ... **A**
- **期内受注売上**の**獲得** ... **B**
- **次期中計の布石**として進める**施策のうち、26年度に効果刈り取りの前倒し** ... **C**

		26年度に寄与する 規模感 (億円)	
B	米国関税の収束 (全体)	+ 100~150	+ M&A
B	欧州市場開拓 (射出)	+ 80~100	
B	インド市場 シェア拡大 (射出・工作)	+ 30~50	
B	北米市場開拓 (精密)	~ + 5	
B	大型特殊機の受注・生産 (工作)	+ 30~50	
C	次世代BSFの受注 (押出)	+ 100~150	
A C	東アジア・東南アジアのグローバル体制再編 (射出)	効率化	

※ 26年度緊急対応の主要施策

インド市場のシェア拡大



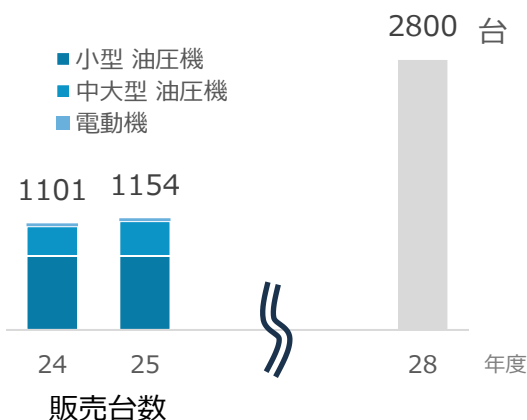
射出成形機

射出

第2工場 量産化

- ドメイン： 自動車、医療、容器、雑貨、家電、文具
- 注力機種： 小型電動機、中大型油圧機

- 油圧～電動までフルライン機種戦略
- 品質・サービス面の差別化戦略
- 電動機によるエネルギーコスト削減効果の訴求
- テクニカルセンター運営による販売強化
- SHIBAURA MACHINE LWB (2025年11月買収のドイツ製造子会社) との技術・調達連携



工作機械

工作

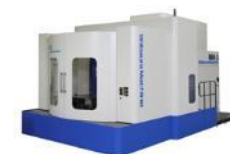
インド市場開拓

- ドメイン： エネルギー（オイルガス、風力）、建機、産業機械、運搬機械
- 注力機種： 横中ぐり盤、立旋盤

- インド市場からの受注拡大
- インド現地法人の組織強化
 - ・ 営業技術とサービス人員の補強、教育中
- 代理店の再整備
- インド工場テクニカルセンターにデモ機（立旋盤）設置
- インド工場で4台の横形マシニングセンターが稼働中（見せる工場）



立旋盤



横形マシニングセンター



LWB
SHIBAURA MACHINE

販路



- 欧州におけるブランド力
- 欧州ユーザー情報
- 欧州販売ネットワーク



営業・サービス

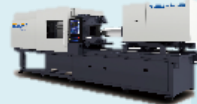
35名

欧州ユーザーに紹介

◆ 欧州販路拡大

✓ **セールス教育の実施**
(2月、4月)


Shibaura Machine



・射出成形機



- ・熱可塑性樹脂知識
- ・豊富な製品群と製造スキル

- ・インドの調達網(低コスト)
- ・半製品・モジュール(低コスト)
- ・製造技術 

LWB
SHIBAURA MACHINE

技術

- エンジニアリング力
- 自動化能力
- 共同機の開発

◆ システム案件拡販

✓ **技術者間の交流**
(2月、4月)

LWB
SHIBAURA MACHINE

製造



- 調達網のグローバル化
- グループ内の生産リソース活用

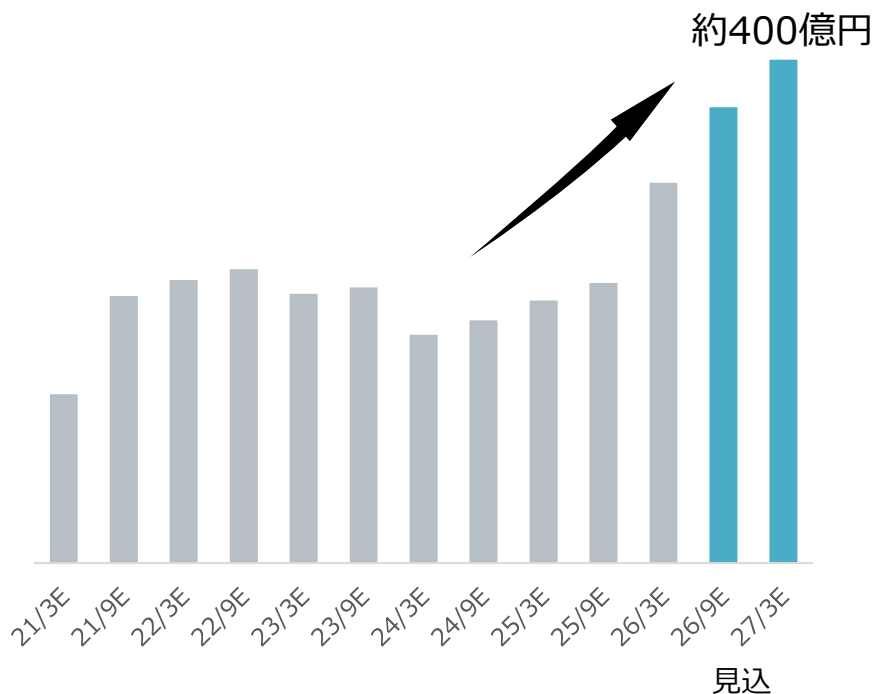
✓ **LWB要求のQCDCに
対応できる
インド業者の調査** (3月)

◆ LWB商品の原価低減、利益率向上

■ 当社の工作機械セグメント 受注残高推移

重工メーカー中心に引合多数

- 航空宇宙
- エネルギー
- 建機
- 造船
- 防衛産業



フロア式横中ぐり盤

複合加工機

大型門形機



期内受注売上を増加させる取り組み

- 在庫機の販促
- 前倒し生産
- レトロフィット・サービス

生産量

2025年度比 **1.5倍**をめざす

- 社内人員の流動化
- 新規外注先の開拓
- 設計変更による主軸頭の仕様統一化

超精密加工機の生産拡大

精密

世界的なAIデータセンター増設を背景に、コネクタ用金型用の超精密加工機の増産体制構築

AIデータセンター増設

コネクタ用金型の需要増加

金型の精度 ±0.2um以下の要求 (ピッチ、深さ)

高精度スライサーの受注拡大

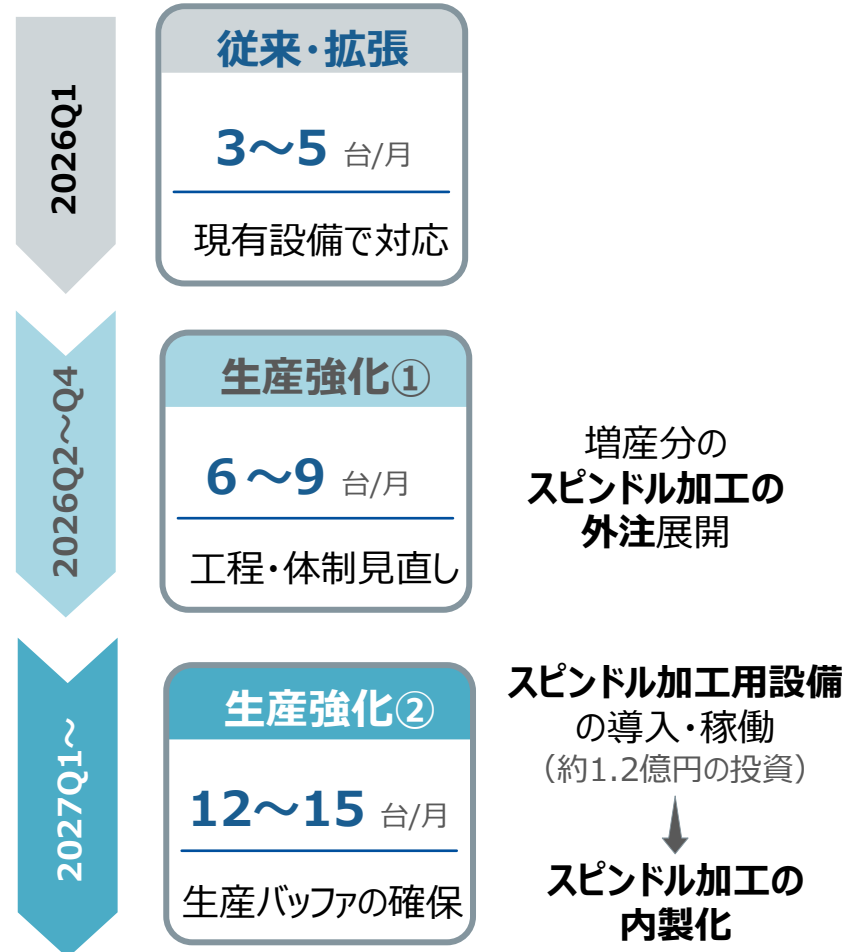
主に中国メーカーより受注獲得
(25下受注台数実績：約100台)



データ転送速度400G用*
金型加工に対応

* 次世代となるデータ転送速度800G
対応機種を開発開始
⇒28年度からの販売を目指す

増産体制

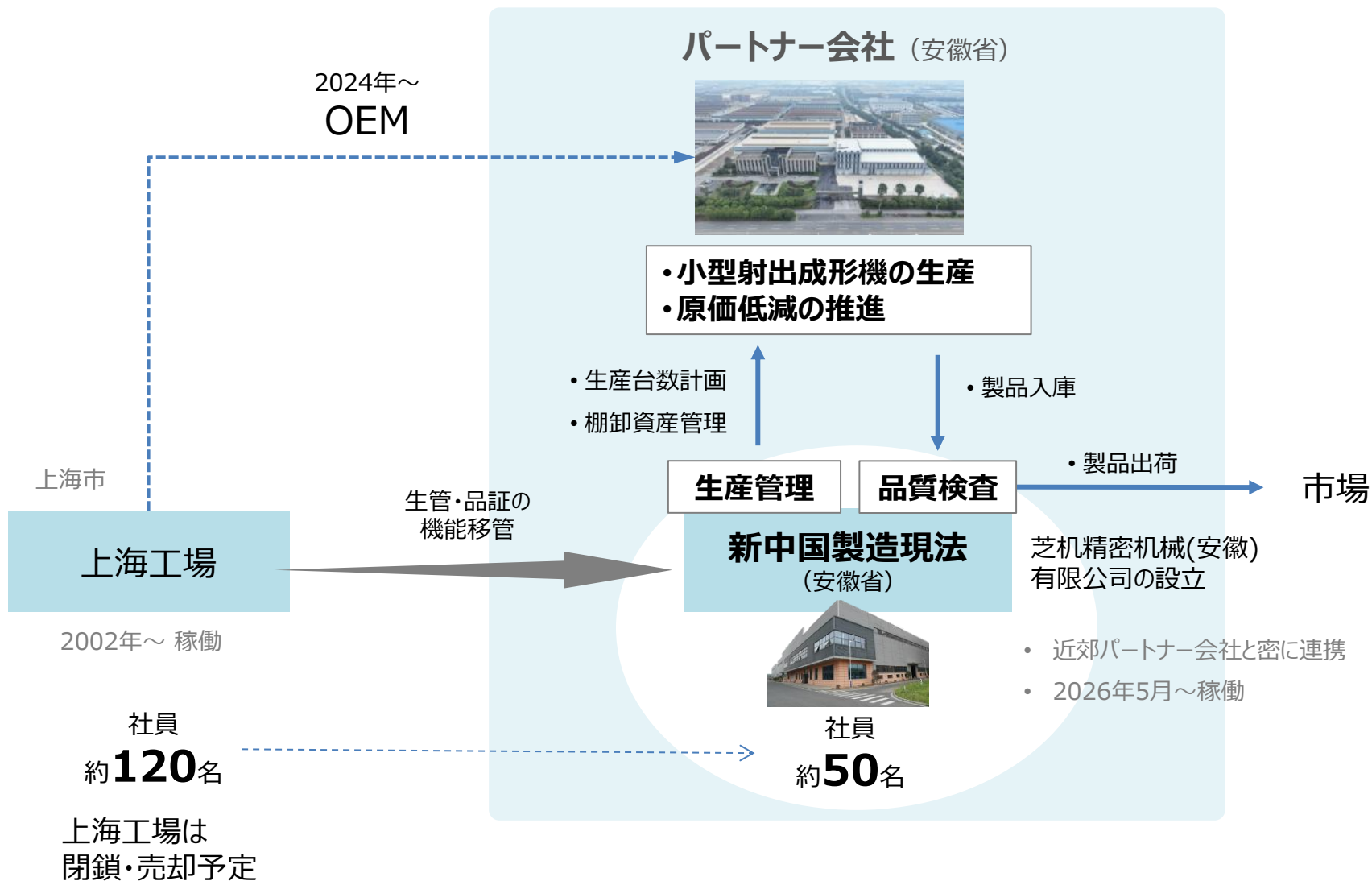


中国生産体制の再編



射出

OEM先と安徽省に新設した新会社による連携と、コンパクトな運営体制で原価低減



東アジア・東南アジアのグローバル体制再編

射出

中国・東南アジア経済圏の一体化が進む中、東アジア・東南アジアの生産体制見直し



中国

2010年代
自動化・省力化ヘシフト

- 人件費の高騰
- スマートフォンブームで筐体・レンズなどが活況

2020年～
EV・スマート化環境

- EVやハイエンド家電に特化
- 「量から質へ」の転換



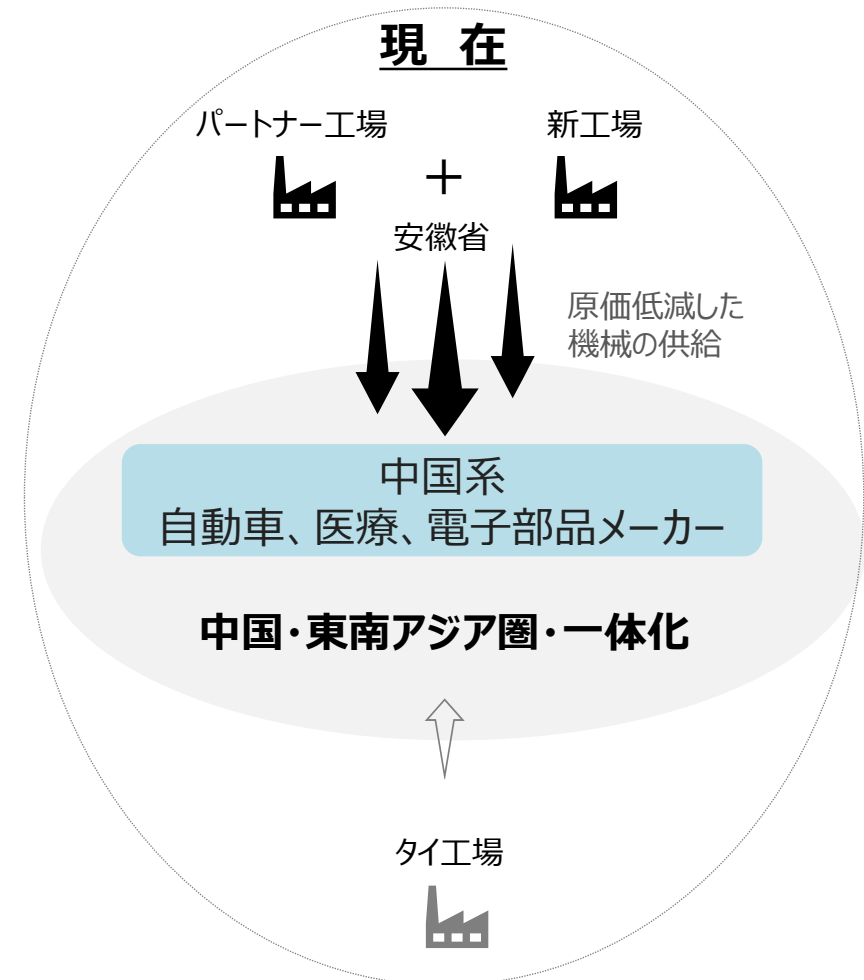
東南アジア

2000～2020年
サプライチェーン構築
業界再編

- ASEAN内での自動車部品補完制度
- 家電の韓国勢躍進

2020年～
中国に代わる**生産拠点**

- 自動車部品のモジュール化とメガサプライヤーへの集約
- ベトナムが世界有数の家電・スマートフォン生産国








生産体制の見直し

中東情勢悪化による影響

中東情勢悪化による石油不足の影響が調達品全般へ波及

各部材価格への影響（予測）

	購買品・外注品 <ul style="list-style-type: none"> 標準品 加工品・装置類 	5～10%UP 10～30%UP
	電気品 <ul style="list-style-type: none"> 制御盤 他 	40%UP
	海外工場の影響 <ul style="list-style-type: none"> 中国・タイ・インド工場での調達品 	3%UP
	社内生産品 <ul style="list-style-type: none"> 鋳物・加工調達品 材料費 電力料 	10%UP 20%UP 30%～60%UP
	輸送費 <ul style="list-style-type: none"> 国内輸送費 	7%UP

現状掴んでいる原価上昇に対して、客先への**売価アップ**を丁寧に交渉
 なお、今後の状況に応じて、タイムリーに売価の見直しを掛けて行く

中計2026

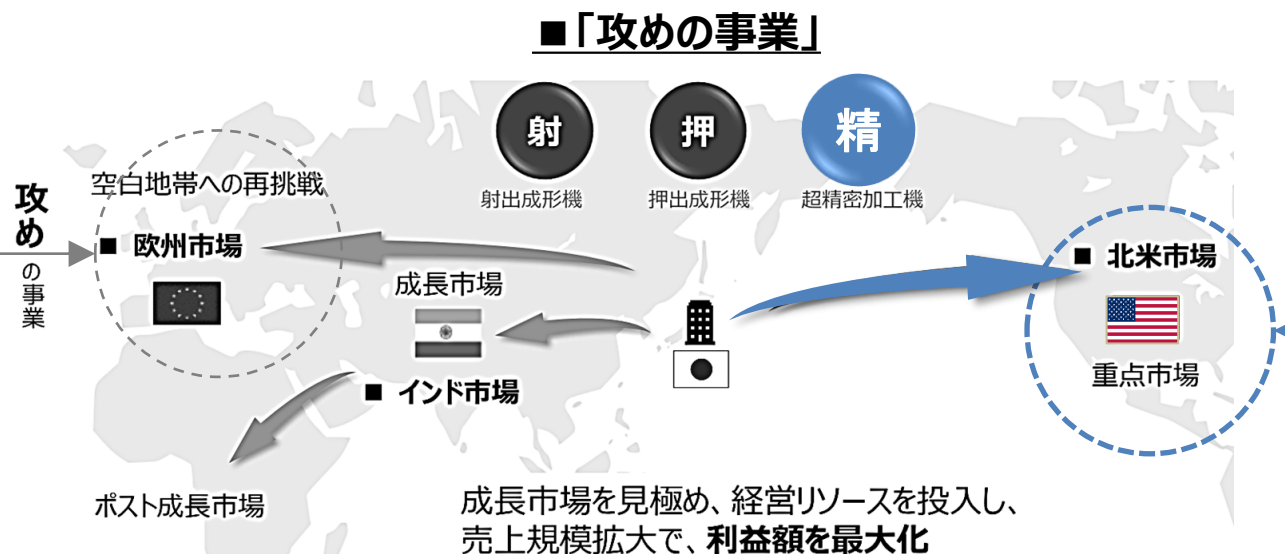
2024年度～2026年度

3

M&Aについて




Moore Nanotechnology Systems社の買収

- 2024年3月 (制御) テクノリンク(株) …システムエンジニアリング強化
- 2025年5月 (射出・ダイカスト) (株)ファンクショナル・フルイッド …システムエンジニアリング強化
- 2025年11月 (射出) SHIBAURA MACHINE LWB GmbH …欧州市場拡大
- 2026年後半 (精密) Moore Nanotechnology Systems, LLC (Nanotech社) …北米市場拡大**



(中計2026)

(精密) 当社とNanotech社との比較

Shibaura Machine		Nanotech社
<ul style="list-style-type: none"> 5軸加工機 ロール旋盤 ガラスレンズ成形機 	製品	<ul style="list-style-type: none"> 5軸加工機 ロール旋盤 ガラスレンズ成形機 ジグ研削盤 
<ul style="list-style-type: none"> 日本、中国 光学、自動車 	販売	<ul style="list-style-type: none"> 北米、中国、欧州 光学、自動車、航空宇宙、医療、防衛
<ul style="list-style-type: none"> 研削得意 空気静圧技術、VV転がり案内、油静圧案内 	技術	<ul style="list-style-type: none"> 切削得意 油静圧技術
<ul style="list-style-type: none"> 沼津工場 御殿場工場 	生産	<ul style="list-style-type: none"> スワンジー工場 (ニューハンプシャー州) シャーロット工場 (ノースカロライナ州) 
<ul style="list-style-type: none"> 企業生産現場への訴求力 スピンドルの精度に強み 	その他	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関・企業開発部門への訴求力 シャーロット工場にテクニカルセンター併設

* 上表の太字は当社にとって追加となる領域

(精密) 市場の比較 (地域)

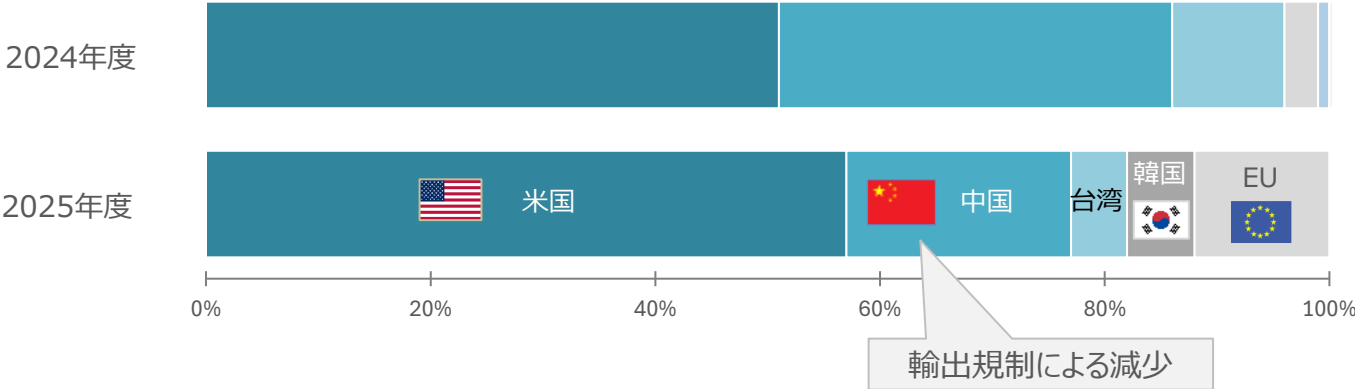
当社は**日本**と**中国**で強く、Nanotech社は**米国**と**欧州**で強く、
統合後においてクロスセルが有効に機能

■ 地域別受注構成比率

Shibaura Machine

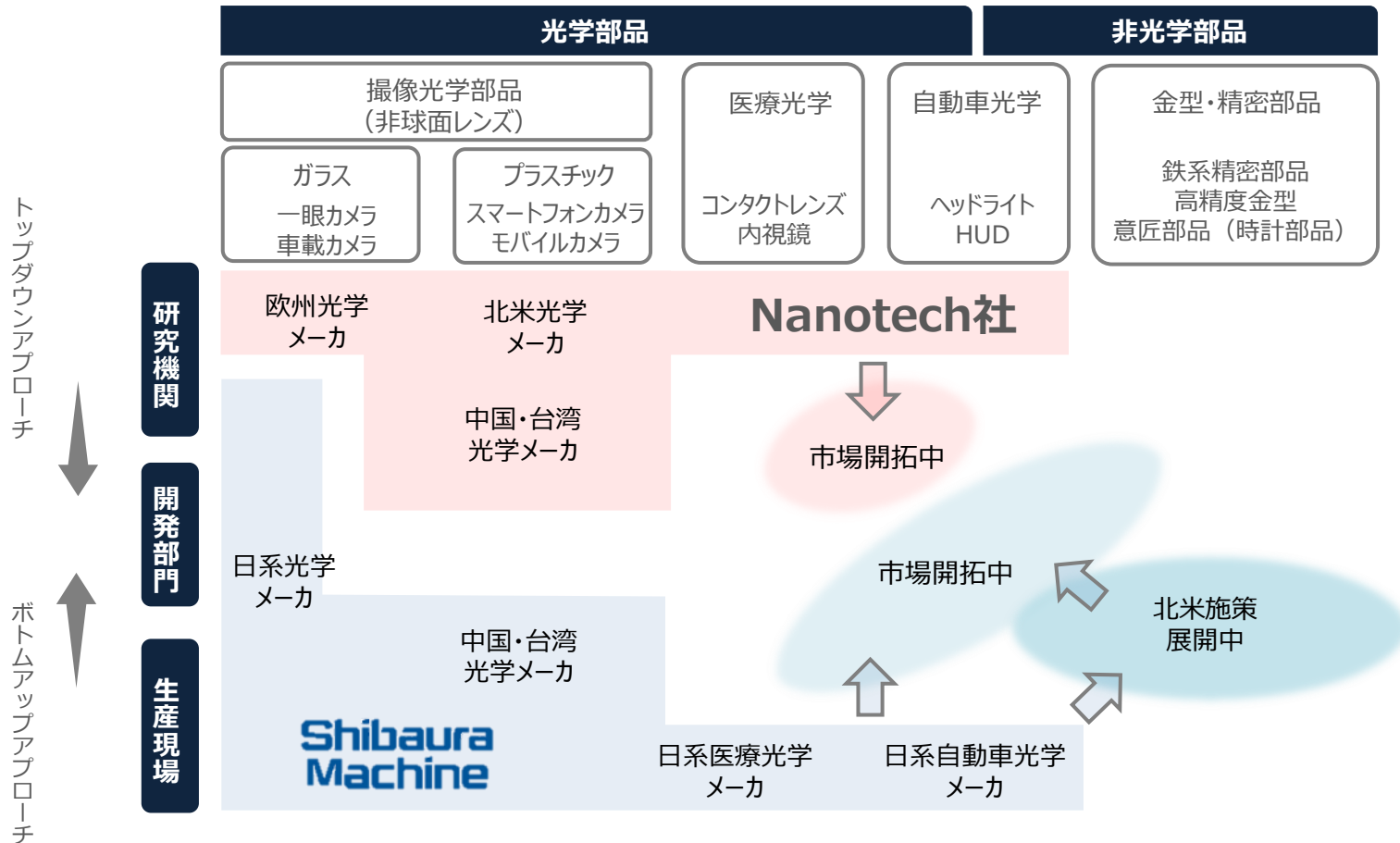


Nanotech社



(精密) 市場の比較 (アプリケーション)

- Nanotech社は研究機関や企業の開発部署へのリーチに強みそこから現場への浸透を狙うトップダウンアプローチ
- 当社は生産現場へのリーチが強い。ボトムアップアプローチ
- 両社とも、医療や自動車分野などの新市場へリソースを投入し、新たなニーズ開拓に注力中



(精密) 統合後のターゲット市場 (アプリケーション) Shibaura Machine

統合後、新市場として2030年度で **+250億円** の売上獲得を目指す

R&D・次世代市場

Nanotech社
開発先行

宇宙・防衛
CAGR 13-21%



目標売上高
+20億円

AIインフラ(DC)
CAGR 23%



次世代
光コネクタ金型

目標売上高
+140億円

Nanotech社
開発先行

ブルーオーシャン領域

ターゲット
市場へ

既存市場

Nanotech社
欧米・中・台



当社
日・中・台

カメラ・スマートフォンレンズ

売上高
130億円

開発/製造リソースの
最適化によるシェア維持

規模拡大市場

Nanotech社
北米

当社
日本

眼科医療
(コンタクトレンズ)
CAGR 8.0%



多機能レンズ

目標売上高
+40億円

Nanotech社
北米

当社
日本

自動車光学
CAGR 8.7%



デザイン重視

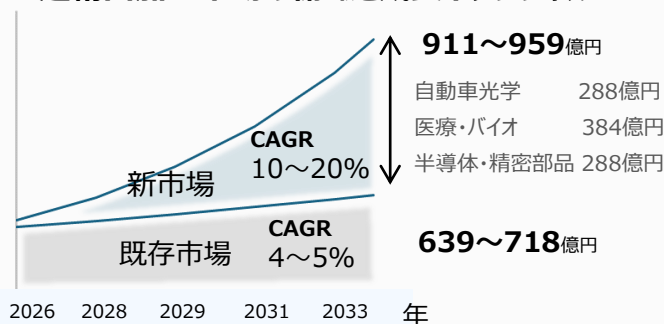
目標売上高
+50億円

ターゲット
市場へ

技術的優位性の構築

* 目標売上高は2030年度

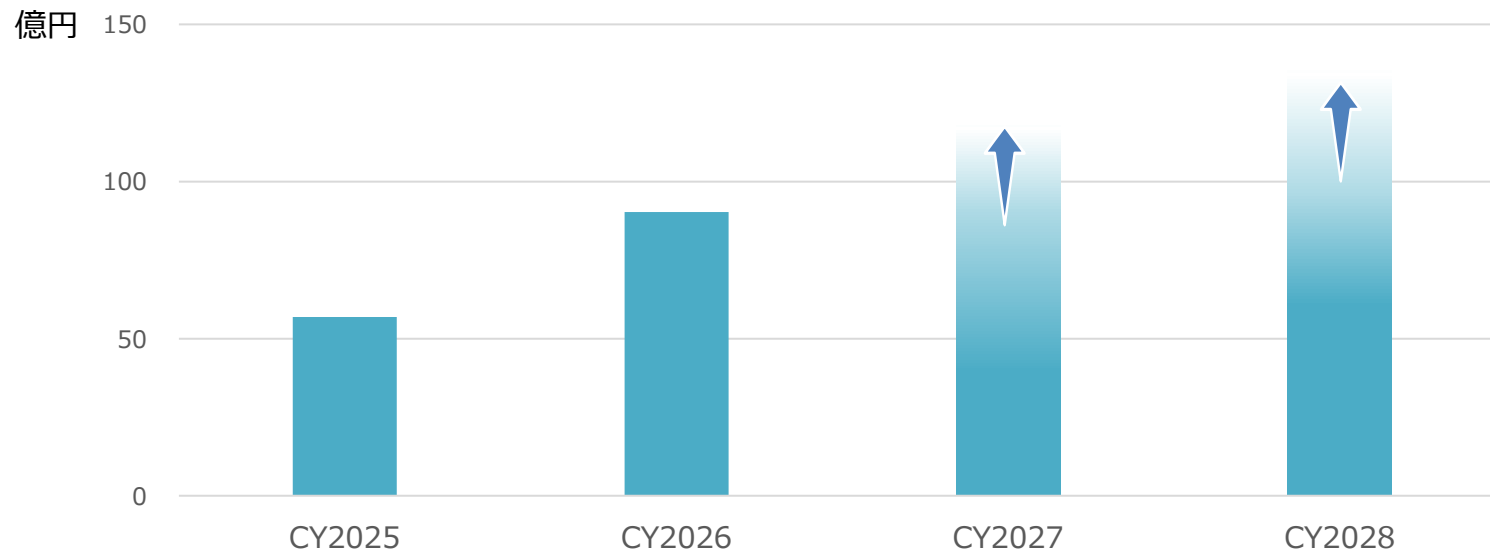
■ 超精密加工市場の俯瞰と成長ポテンシャル



技術高度化

規模/成長

■ Nanotech社単体の売上高予測



■ 主なシナジー効果創出の施策

- 双方の販売網・販売リソースを活用した商品販売
- 自動車光学、医療（眼科）の新規成長市場を共同で開拓
- 開発リソースの共有化による効率化
- 双方で共通する基幹部品の一括生産による原価低減

4

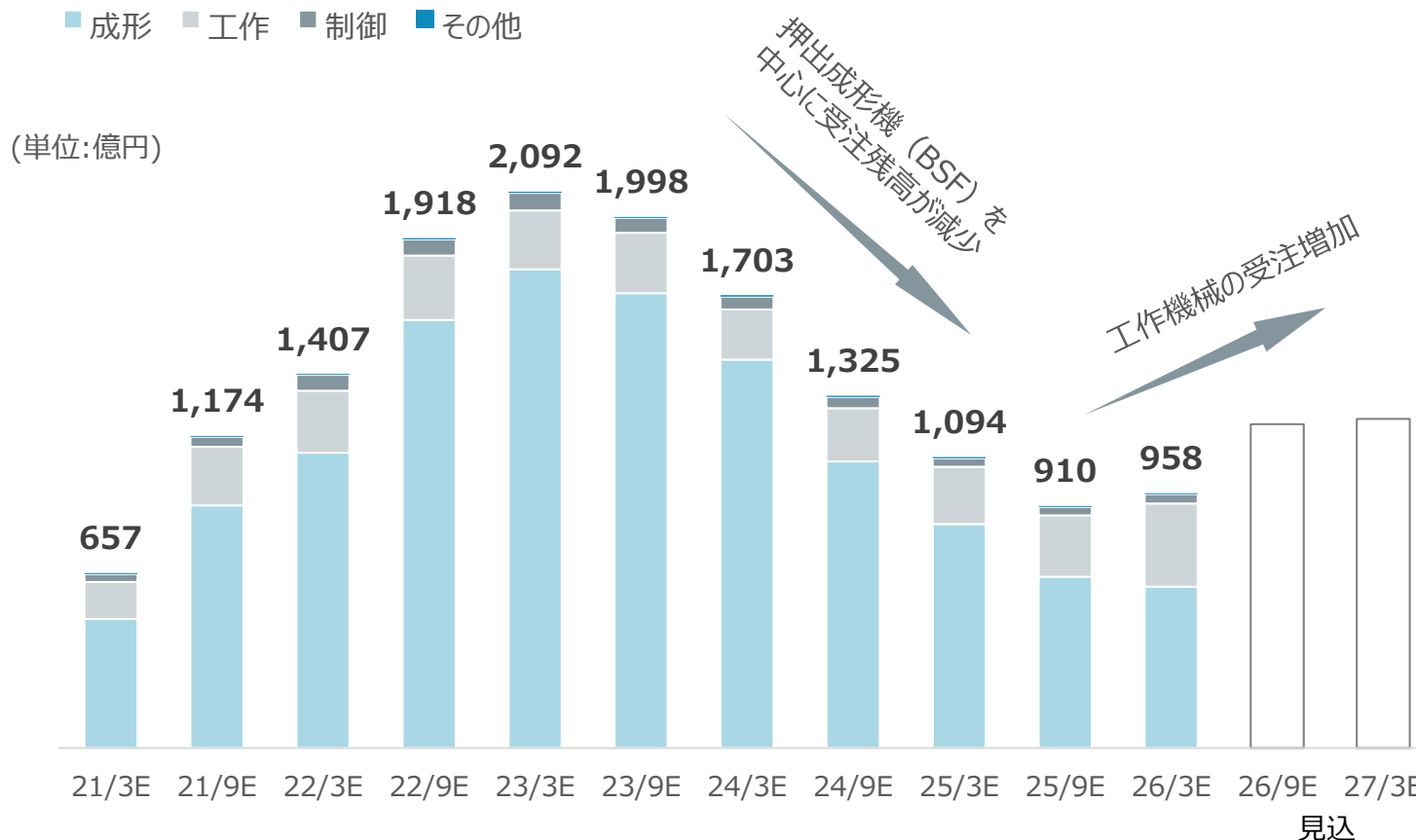
次期中計の方向性

(2027年度～)

2027年度以降の規模感

■ セグメント別受注残高推移

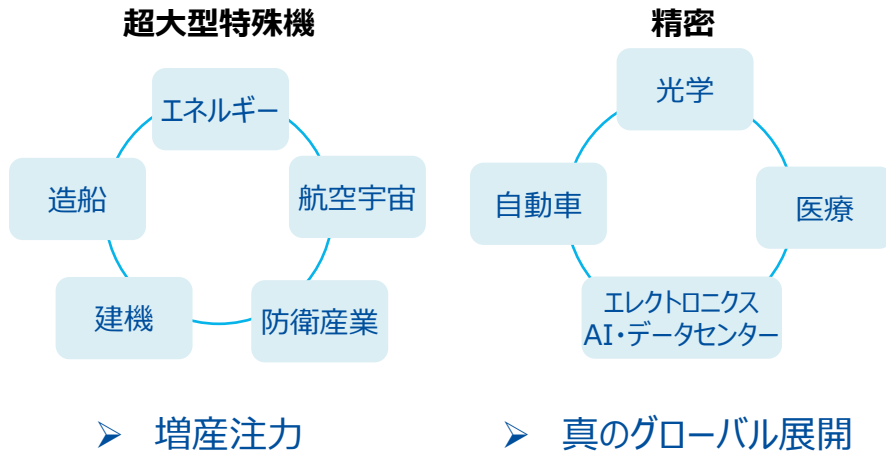
※Nanotech社分は含まず



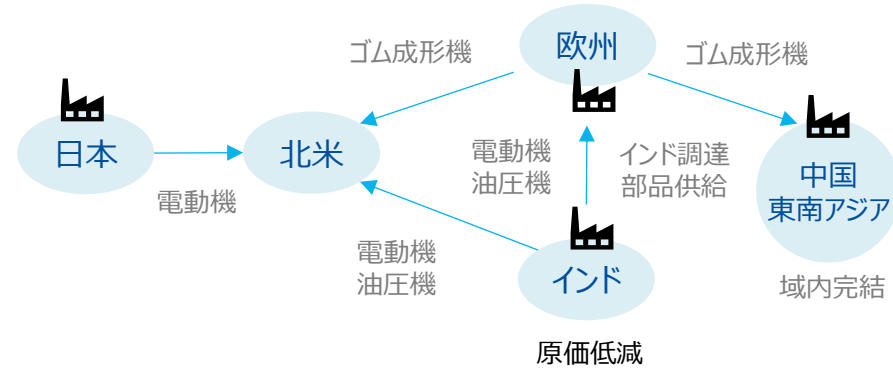
- 25年9月末を底に回復
- 工作機械の受注環境の復調が鮮明 ⇒ **工作機械の受注残を積み上げ**、売上のコアを形成する
- +aとして、**押出の次世代BSFの受注**を積み増す

次期中計の主要施策になりうるアイテム

■ 工作機械の事業拡大（ドメインの再定義）



■ 海外市場強化（射出）



- 都度変化する、マーケットの動き・地政学リスクに合わせ、出荷元工場をフレキシブルに対応
- 投資案件（インド工場増設、ドイツ企業買収）の利益増大

■ 押出の開発+沼津工場再編

テスト開発できる押出用のテクニカルセンターを沼津工場内に建設予定



- 自動車用全固体電池
- 次世代BSF（ESS用）
- 光学フィルム用
- 航空宇宙（CFRTP素材）

- 用途が拡大するアプリケーションに向け研究開発を加速

■ システムエンジニアリング

(株)ファンクショナル・フルイッドの二次冷却システム（**金型寿命の延命効果、省エネ効果**）を**インド工場**で生産展開



射出成形機用



ダイカストマシン用

- 気候の暑いインドで、当装置を機械に搭載し、**付加価値**を高めて拡販

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>